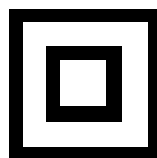
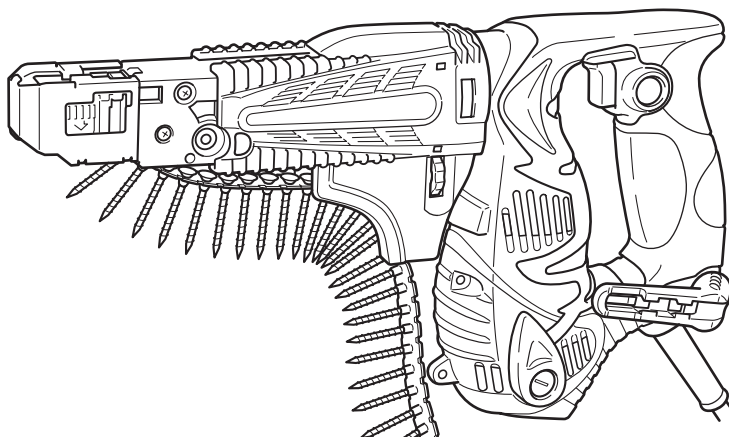
Hitachi Koki

日立連結ねじドライバ

4mm　**W 4YD**

4mm　**W 4YG**

取扱説明書

このたびは日立連結ねじドライバをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

二重絶縁

HITACHI

目　次

ページ

⚠警告、⚠注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告 **：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠ 注意 **：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 **：製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警　告

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警　告

⑨ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- 継ぎ（延長）コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

- 使用しない、または修理する場合。
- 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。

- 屋外で継ぎ（延長）コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。

⚠ 警　告

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
  スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにお申しつけください。
  ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

回　二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が、二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具で、この製品には“回”マークを表示しています。

二重絶縁工具は、感電に対し安全性が高められています。

異なった部品と交換したり、間違って組立てると、二重絶縁構造ではなくなり、危険です。

電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

連結ねじドライバの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、連結ねじドライバとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

① **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。

② **作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。

③ **使用中は、振り回されないよう機体を確実に保持してください。**
確実に保持していないと、けがの原因になります。

④ **使用中は、ビットなどの回転部に手や顔などを近づけないでください。**
けがの原因になります。

⑤ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。**
そのまま使用していると、けがの原因になります。

⑥ **誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

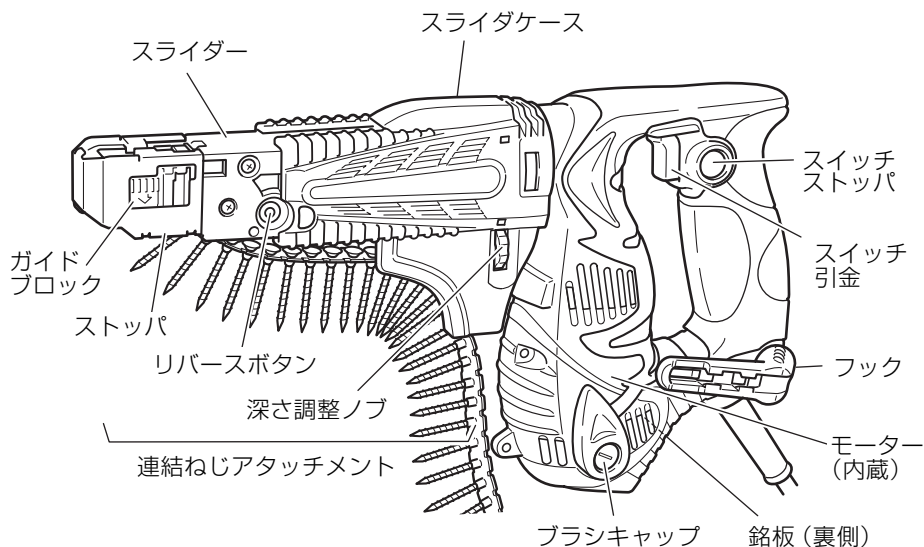
⚠ 注　意

① **工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。**
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

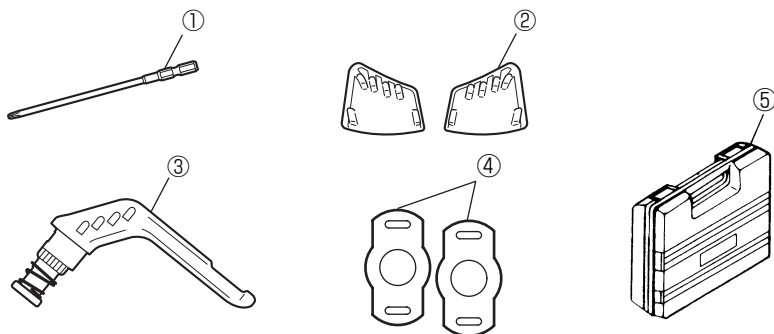
② **締付け深さの調整時は、スイッチを切ってください。**
回転させたまま締付け深さを調整すると、けがの原因になります。

③ **高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。**
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。

④ **回転させたまま、台や床などに放置しないでください。**
けがの原因になります。

各部の名称

仕　　様

形名 / 項目	W 4YD	W 4YG
能　力（使用ねじ）	木下地用（ボード用ねじ）：長さ 25 ㎜ ～ 41 ㎜ 木下地用（コンパネ用ねじ）：長さ 28 ㎜ ～ 41 ㎜ 鋼製・木下地用（ステンレスねじ）：長さ 25 ㎜、32 ㎜ 鋼製下地用（ドライウォール用ねじ）：長さ 25 ㎜ ～ 41 ㎜	
無負荷回転数	4700 min^{-1} {4700 回／分}	6000 min^{-1} {6000 回／分}
使用電源	単相交流 50／60 Hz 共用　　電圧 100 V	
モーター	単相直巻整流子モーター	
全負荷電流	5 A	
消費電力	470 W	
質　量	1.7 kg（コードを除く）	
コード	2心キャブタイヤコード　5 m	

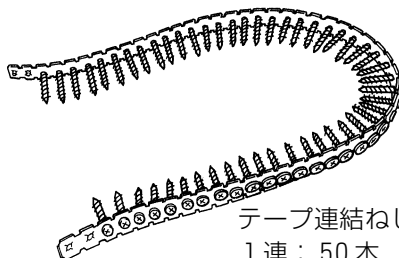
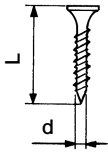
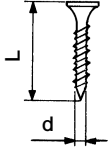
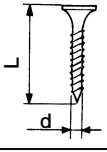
標準付属品

① プラスドライバビット（No. 2、長さ 136 ㎜ 、本体付属） ･･･ 1 本
② ゴムカバー ･･ 1 セット
③ フック（本体付属） ･････････････････････････････････ 1 個
④ シート ･･ 2 個
⑤ プラスチックケース ･･･････････････････････････････ 1 個

別 売 部 品

･････････････････････････ （別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。）

1. プラスビットセット（5 本入）････ コードNo. 0032－4134

2. 連結ねじドライバ用テープ連結ねじ

この機体はテープ連結ねじを使用します。
ねじ締め作業の用途に合わせて適切なねじをお選びください。
ねじは連結ねじドライバをお買い上げの販売店でお求めください。

テープ連結ねじ
1 連： 50 本

注 • **指定外のねじは使用しないでください。**
異常締付け（ねじ倒れ・浮き）、故障（ねじづまり・ビットの摩耗）の原因になります。

<table>
<tr><th colspan="2">長さＬ(mm)</th><th colspan="2">ねじ名称・表面処理・形状</th><th>軸径（d）(mm)</th><th>形　式</th></tr>
<tr><td rowspan="7">木下地用</td><td>25</td><td rowspan="4">ボード用ねじ
ディスゴ</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">φ3.9</td><td>SH 3925D</td></tr>
<tr><td>28</td><td>SH 3928D</td></tr>
<tr><td>32</td><td>SH 3932D</td></tr>
<tr><td>41</td><td>SH 3941D</td></tr>
<tr><td>28</td><td rowspan="3">フレキ付コンパネ用ねじ
ディスゴ</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">φ3.9</td><td>SH 3928FD</td></tr>
<tr><td>32</td><td>SH 3932FD</td></tr>
<tr><td>41</td><td>SH 3941FD</td></tr>
<tr><td rowspan="3">鋼製下地用</td><td>25</td><td rowspan="3">ドライウォール用ねじ
ディスゴ</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">φ3.5</td><td>SD 3525D</td></tr>
<tr><td>32</td><td>SD 3532D</td></tr>
<tr><td>41</td><td>SD 3541D</td></tr>
</table>

用　　途

○ 建築内装の石こうボードの締付け作業
○ 木下地のコンパネの締付け作業

作業前の準備

ご使用前に次の準備をすませてください。

1．継ぎ（延長）コード

⚠ 警　告
• 継ぎ（延長）コードは、損傷のないものを使用してください。

電源が離れているときは、電流を流すのに十分な太さの継ぎ（延長）コードをできるだけ短くして使用します。

（次ページへつづく）

導体公称断面積	最大長さ
0.75 ㎜^{2}	20 m
1.25 ㎜^{2}	30 m
2 ㎜^{2}	50 m

左の表は、コードの太さ（導体公称断面積）によって、機体に使用できるコードの最大長さを示します。

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

2．作業環境の整備・確認

作業する場所が2ページの「電動工具の安全上のご注意」①、②、④項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠ 警　告

- **ご使用前に次のことを確認してください。1～3項については、さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。**

1．使用電源を確かめる

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。

また、直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2．スイッチが切れていることを確かめる

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源コンセントにさし込むと、不意に機体が起動し、思わぬ事故のもとになります。スイッチはスイッチ引金（6ページの図参照）を引くと入り、はなすと切れます。スイッチの引金を引き、はなしたとき引金が戻ることを必ず確認してください。

3．ビットの確認と交換

この機体には標準付属品としてNo. 2 プラスビットが組込まれております。

ビットが損傷していないか必ず点検してください。摩耗したビットを使用しますと、ねじ締め不良の原因になります。作業前にビットを点検し、早めに新品と交換してください。もし、ビットの損傷などにより交換する必要がある場合は、 16ページの「ビットの取付け・取りはずし」の項を参照し、ビットを交換してください。

注 • **必ず連結ねじドライバ専用の当社指定のビットを使用してください。**
連結ねじドライバ専用の当社指定のビット以外では、ねじ浮きやねじ送り不良の原因になります。

4．電源コンセントの点検

さし込みプラグをさし込んだとき、電源コンセントがガタガタだったり、さし込みプラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

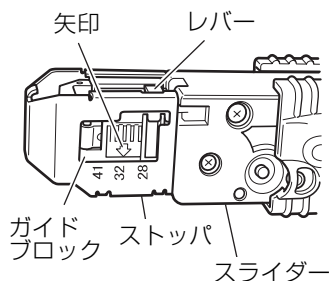
ねじ長さと締付け深さの調整

1．ねじ長さの設定

この機体は、ガイドブロックをスライドして、ねじ長さを設定します。

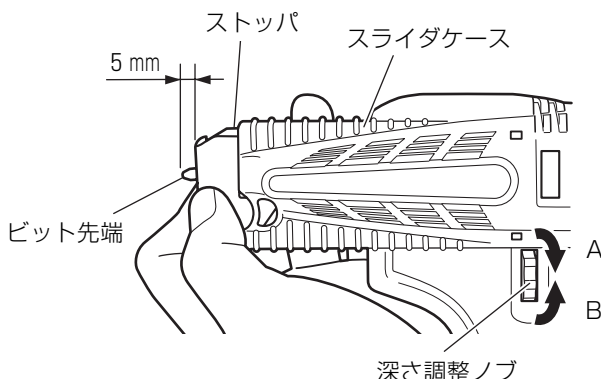
レバーを押しながら、ガイドブロックの矢印部を指でスライドさせて、ガイドブロックの矢印とストッパの数字を使用するねじ長さに合わせます。

ねじの長さとビスガイドの位置は下表を参照してください。

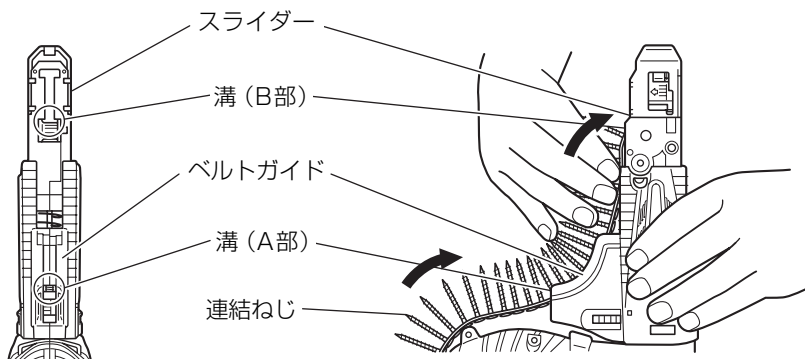
ストッパの数字	ねじの長さ
28	25 ～ 28 mm
32	32 ～ 35 mm
41	38 ～ 41 mm

（次ページへつづく）

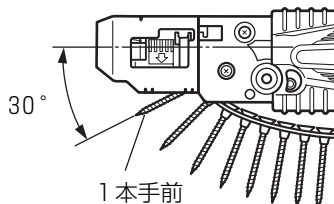
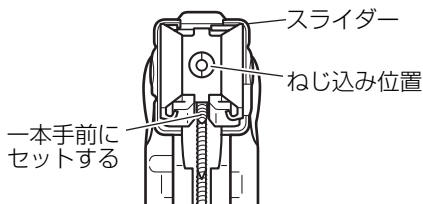
2．ねじの締付け深さの調整

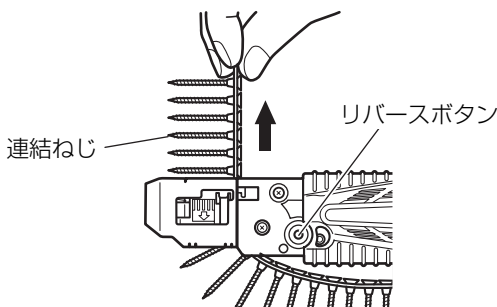
この機体は、深さ調整ノブを回して、締付け深さを調整します。

⑴ スライダーをスライダケースの奥まで押し込んで、ビット先端が約５㎜出るように深さ調整ノブを回して調整します。
⑵ ねじを試し打ちし、微調整します。ねじの頭が浮きすぎる場合はA方向（反時計回り）に、ねじの頭が沈みすぎる場合はB方向（時計回り）に深さ調整ノブを回して微調整してください。

連結ねじの取付け・取りはずし

1．取付け

⑴ 連結ねじのテープ先端をベルトガイドの溝（A部）にさし込みます。
⑵ テープ先端をスライダーの溝（B部）にさし込み、➔方向に押し込むように送り込みます。

(3) 連結ねじは、ねじ込み位置の１本手前にセットしてください。

注 • **連結ねじは確実にセットしてください。**
確実にセットしませんと、ビットでボード表面に傷つけたり（送り不足）、ねじをムダにしたり（送りすぎ）する原因になります。

2．取りはずし

(1) 連結ねじを取りはずすときは、図に示すように ➔ の方向に引いて取りはずします。

(2) リバースボタンを押すことにより、矢印と逆の方向に戻すこともできます。

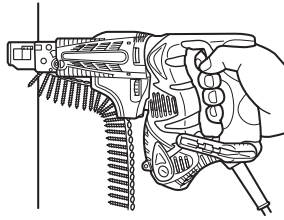
使　い　方

⚠ 警　告

• **作業中は、必ず保護メガネを使用してください。**

1．操作の仕方

スイッチ引金を引いて、連続運転の状態で機体をまっすぐ対象物に当てて押付けますと、ねじが自動的に送られ、ねじを締付けます。

（次ページへつづく）

注 • **締付けるときは、機体を対象物にまっすぐに当てて締付けてください。**
対象物に対し、機体が斜めになると、ねじの頭部を傷めたり、ビットの摩耗につながります。また、所定の締付力がねじに伝わらず、ねじ浮きの原因になります。

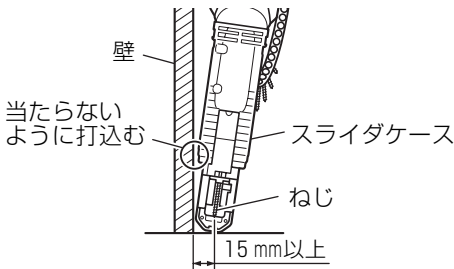
• **締付けるときは、締付け終了まで機体をしっかり押し付けてください。**
途中で押し付けをゆるめると、ねじ浮きの原因になります。

• **締付けるときは、機体をたたくような押し付け方では行わないでください。**
ねじ送り動作が不安定になる原因になります。

• **ねじの上にねじを締めるとねじが倒れたり、次のねじが送られませんので注意してください。**

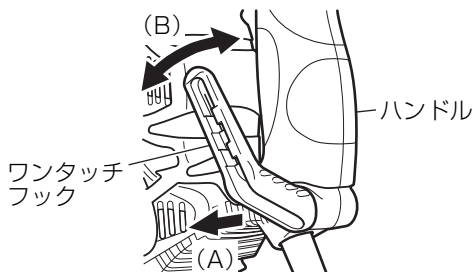
• **空打ちの注意： 連続してねじを締めていると、ねじがなくなったのに気が付かず、そのまま使用することがあります。空打ちすると、ビットで石こうボードを傷つけてしまいますので、ねじの残り本数を見ながら締付けてください。**

2．隅打ち

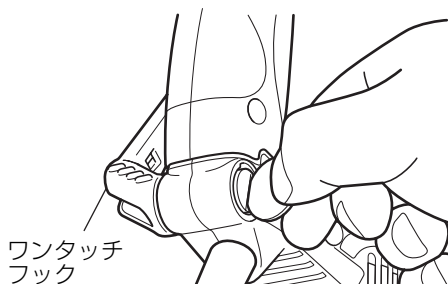
壁から 15 ㎜ の位置まで、隅打ちができます。

注 • **壁から 15 ㎜ 未満での隅打ちや、壁にスライダケースを当てた状態での打込みは、しないでください。**
ねじの頭部を傷めたり、ビットの摩耗につながります。また、所定の締付け力がねじに伝わらず、ねじ浮きの原因になり、さらに機体の故障の原因になります。

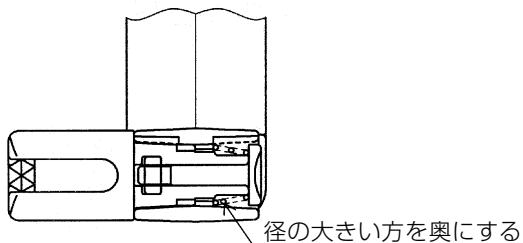
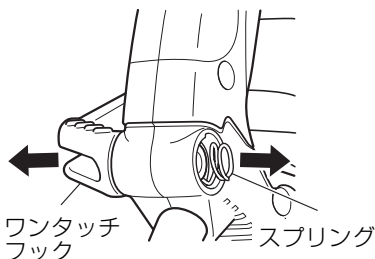
3．ワンタッチフックの使用方法

ワンタッチフックはハンドルの左右に取付け可能で、取付け角度を0°～80°まで5段階に調整できます。

(1) ワンタッチフックの操作方法

(1) ワンタッチフックを矢印（A）の方向（手前側）に引き出します。
(2) ワンタッチフックを矢印（B）の方向に回転させます。
(3) 5段階（0°、20°、40°、60°、80°）に角度調整できます。
お好みの位置にワンタッチフックを調整してお使いください。

(2) 左右の付け替え方法

⚠ 注　意
• **ワンタッチフックはしっかりと取付けてください。** フックの取付けが不完全なまま使用すると、けがの原因になります。

(1) 機体をしっかり支え、お手持ちの ⊖ ドライバーまたはコイン（10円玉など）を使用してねじをはずします。
(2) ワンタッチフックとスプリングをはずします。
(3) 反対側にワンタッチフックとスプリングを取付け、ねじを最後までしっかりと締付けてください。

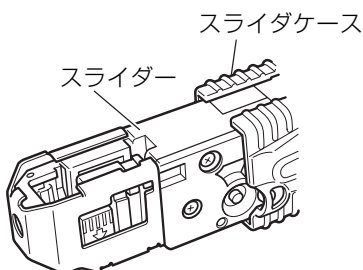
注 • **スプリングには方向性があります。スプリングの径が大きい方を奥にして取付けてください。**

4．ゴムカバーの取付け方

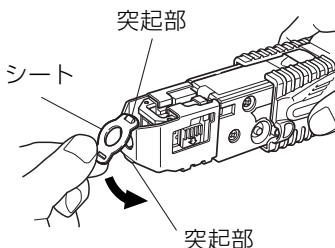
風穴からの風が気になるときは、付属のゴムカバーを風穴に取付けて風の出る向きを変えてください。

ゴムカバーの取付けは、突起部を風穴にしっかりと押し込みます。横から順番に押し込むと取付けが簡単です。

5．スライダーがスムーズに動かなくなったときは

防錆剤「CRC－556」などをスライダーやスライダケースのスライド面、スライダ内部に吹き付けてください。

注 **• 特に上向き作業は石こうボードの粉をかぶりやすいので、定期的にスライド面、スライダ内部の掃除を行ないながら作業してください。**

6．シートの取付け方

シートが損傷して使用できないときは、付属のシートに交換してください。シートの取付けは、ストッパの2箇所の突起部にシートの穴をはめ込んで下さい。

ビットの取付け・取りはずし

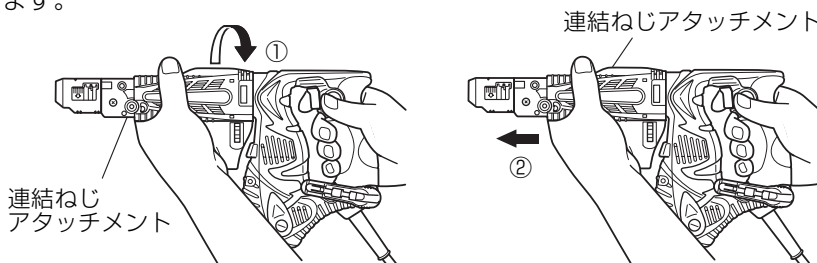
⚠ 警　告

• 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

⚠ 注　意

• ビット交換時は、ビットの抜け落ちがないように確実に取付けてください。

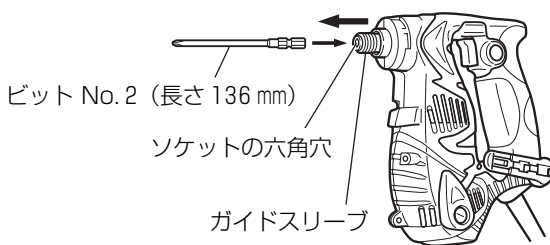
1．連結ねじアタッチメントの取りはずし

機体を片手で固定し、もう一方の手で連結ねじアタッチメントを左図の矢印①の方向に回転させます。次に、右図の矢印②の方向に引き、取りはずします。

注 • **アタッチメント取付け口付近に石こう粉が付着すると、取りはずしにくくなります。石こう粉が付着しないように、こまめに清掃するようにしてください。**

2．ビットの取付け、取りはずし

プラスドライバビット（No. 2 、長さ 136 ㎜）以外のビットでは連結ねじの締付け作業は行なえません。

ビットは、次の手順で確実に取付けてください。

ガイドスリーブを先端側に移動させ、ビットをアングルの六角穴にさし込み、ガイドスリーブをはなします。

取りはずす場合は、取付け方と逆の要領で行なってください。

注 • **ビットを取付け、ガイドスリーブが元の位置に戻らないときは、取付けが不確実です。ビットがソケット六角穴の奥まで突き当たるまで入れてください。**

3．連結ねじアタッチメントの取付け

上記の「1．連結ねじアタッチメントの取りはずし」と逆の要領で取付けてください。

ねじの取扱い

注 • **ねじの梱包箱、連続ねじ単体いずれの場合も扱いをていねいにしてください。落としますと、連結テープからねじがはずれたりし、ねじ送り不良となる場合があります。
ねじは長時間外気や直射日光にさらさないでください。さびの発生や、連結テープに不具合が生じる場合がありますので、使用しないときはねじ梱包箱などに入れておいてください。**

保守・点検

⚠ 警　　告
• 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

1．ビットの点検

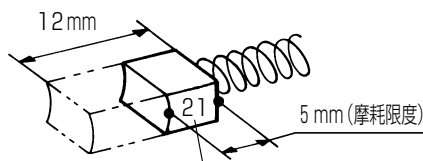
先端部が摩耗したり折損したビットをそのままご使用になりますと、ねじ頭部を傷めるので早めに新品と交換してください。

2．各部取付けねじの点検

各部取付けねじでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締め直してください。

3．カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しています。

カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因になりますので、長さが摩耗限度（5㎜）ぐらいになりましたら新品と交換してください。

カーボンブラシの番号
（番号21はコードNo.の下2桁を示しております。）

また、カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしてください。

注 • **新品と交換の際は、必ず図示の番号（21）の日立カーボンブラシを使用してください。**

交換方法

カーボンブラシは、マイナスドライバーなどでブラシキャップ（6ページの図参照）をはずしますと取り出せます。

4．モーター部の取扱いについて

モーター部の巻線は機体の重要な部分です。巻線に傷、洗油および水をつけないよう十分注意してください。

注 • **ゴミやほこりを排出するため、定期的にモーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジングのスイッチ側の風穴から吹き込んでください。**
モーター内部にゴミやほこりがたまると、故障の原因になります。

5．表面のよごれの清掃

機体の外枠のよごれは乾いたやわらかい布かまたは石けん水をつけた布などでふいてください。

塩素系溶剤、ガソリン、シンナー、石油、灯油類はプラスチックを溶かす作用をしますので使わないでください。

6．機体や付属品の保管

機体や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- ○お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
- ○軒先など雨がかかったり、湿気のある場所
- ○温度が急変する場所
- ○直射日光の当たる場所
- ○引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しない。

ご修理のときは

この機体は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは、裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

■ 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全 国 営 業 拠 点

営業本部　〒108-6020　東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟）
☎(03) 5783-0626(代)

北海道支店　〒004-0053　札幌市厚別区厚別中央3条1丁目2番20号
☎(011) 896-1740(代)

東北支店　〒984-0002　仙台市若林区卸町東三丁目3番36号
☎(022) 288-8676(代)

関東支店　〒110-0016　東京都台東区台東四丁目11番4号（三井住友銀行御徒町ビル）
☎(03) 5812-6331(代)

中部支店　〒460-0008　名古屋市中区栄三丁目7番13号（コスモ栄ビル）
☎(052) 262-3811(代)

北陸支店　〒920-0058　金沢市示野中町一丁目163番
☎(076) 263-4311(代)

関西支店　〒663-8243　西宮市津門大箇町10番20号
☎(0798) 37-2665(代)

中国支店　〒730-0826　広島市中区南吉島二丁目3番7号
☎(082) 504-8282(代)

四国支店　〒760-0078　高松市今里町一丁目28番14号
☎(087) 863-6761(代)

九州支店　〒813-0062　福岡市東区松島四丁目8番5号
☎(092) 621-5772(代)

● 電動工具ご相談窓口 — お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター　フリーダイヤル　0120-20 8822（無料）

※携帯電話からはご利用になれません。（土・日・祝日を除く　午前9：00～午後5：00）

電動工具ホームページ — http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立工機株式会社

005
部品コード　C99138302　N